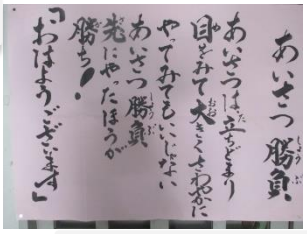
教育目標
○よく学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子

まあじ

学校だより
第12号

発行日：　平成30年　8月31日　発行人：校長　宮城　隆

校長ビジョン



学校HPもご覧ください

一学期後半が始まりました

もえる気持ちとは、人からいわれてやるのではなく、自分から進んでやろうという気持ちのことを言います。

８／２７一学期後半が始まり一週間がたちました。

始業日には、夏休みの作品を抱え登校する姿がありました。朝会では「もえる気もち」を持って自分から進んで動きましょうという話をしました。

また、9月は運動会、10月は学習の学期まとめ、そして仲間づくりに一生懸命にがんばってくださいというメッセージをおくりました。

10/５までの一学期後半の時期はホップ、ステップの時期になるといわれ、とても大切です。今後ともよろしくお願いします。

夏休み作品鑑賞会、みんなすごいね

もえる気持ちを持って

さっそく運動会の係ぎめです　6年生

子どもたちは地域の宝です。ゆかた姿で祭りを華やかにしてくれました

8/12青少協つなひき大会

真地の選手は　力の限り　綱を引きました。2勝しました。

6年生が英語で質問してくるものですから

かたまってしまいました・・・

訊く（きく）について

きくには三つの形があるといわれています。一つ目は「耳には入っていますよ」というものが＜聞く＞で、二つ目は「耳を傾けて理解しようとしていますよ」という傾聴の＜聴く＞です。そして最後の三つ目のきくは＜**訊く＞です。**英語では＜question＞、つまり「質問する」という意味で使います。

学問とは「問いを学ぶ」と書きます。つまり学問とは、よい問い(訊く力)を学ぶことだとも言われています。よい問いは、知識や情報を増やし、さらにはそれを深めてくれます。真地っ子たちにはこれら三つの「きく」を活用しながら、特に三番目の「訊く」の力を重点的に高めてほしいと考えています。